

いぶり 以布利センターがリニューアル 記念のセレモニーと内覧会を行います

海遊館（大阪市港区）では、土佐清水市以布利に「大阪海遊館 海洋生物研究所以布利センター」（以下「以布利センター」）を開設し、周辺で見られる海洋生物の調査研究を行ってきました。この度、その役割・機能を強化するため、第一水槽のリニューアルと第二水槽の観覧スペースに情報展示コーナーを追加する工事を行いましたので、これを記念し、平成 28 年 3 月 19 日（土）にセレモニー、内覧会および餅撒きを行います。

海遊館は平成 2 年の開業前より、土佐清水市の皆様にお世話になり、展示魚類の収集やジンベエザメに関する調査を行ってきました。多種多様の海洋生物が見られるこの地域で調査研究活動を本格化するため、平成 9 年 9 月に以布利センター第一水槽を開設し、さらに平成 21 年 12 月に大型で健康管理用水槽を備えた第二水槽を設置し現在に至っています。

今回、第一水槽では、機能向上を目的として外壁、鉄骨、防水など 25 項目にわたるリニューアル工事を施し、調査研究活動の充実を図りました。また観覧スペースを持つ第二水槽では、調査研究活動の成果を掲示し、ジンベエザメやイトマキエイの輸送を映像で紹介するコーナーを設けました。加えて、地元小学生の絵画も展示し、これまで以上に関心を持ってご覧いただけるようになっています。

以布利センターでは、今回のリニューアルを契機に、改めて地元の皆様との協力関係を深め、一般公開や情報発信を通して、より多くの皆様に生物多様性が豊かな以布利の海に興味を持っていただき、地域の活性にも貢献したいと考えています。



地元小学生の描いた絵画を展示

【以布利センター、記念セレモニー、内覧会と餅撒きについて】

日 時	平成 28 年 3 月 19（土）9：30～10：30			
場 所	以布利センター前 ジンベエ広場（雨天時：高知県漁業共同組合以布利支所敷地内）			
内 容	9:30	セレモニー	主催者挨拶	海遊館館長 西田 清徳
		内覧会	来賓挨拶	土佐清水市長 泥谷 光信様
	9:45	餅撒き	来賓と海遊館	
	10:00	自由見学	第二水槽 観覧スペース	

来賓	土佐清水市長	泥谷 光信様
	以布利区長	川上 裕敏様
	清水漁業協同組合統括支所長	岡林 大志様
	清水漁業協同組合以布利支所長	浜崎 良夫様
	以布利共同大敷組合長	中平 義久様

【大阪海遊館 海洋生物研究所以布利センターについて】

平成9年9月、高知県土佐清水市以布利いぶりに開設。大型の円形水槽（直径約20m、水深約5m、水量約1,600t）と研究管理棟を設置。海遊館で展示する生物の収集、生態研究ならびに足摺岬周辺海域における海洋生物の基礎的研究を始める。

平成13年4月には京都大学、高知大学と共に行った魚類相調査の成果をまとめ、海遊館から図鑑「以布利 黒潮の魚 ～ジンベエザメからマンボウまで～」を発行した。同図鑑には、ジンベエザメやマンボウの形態や飼育下における生態をはじめ、日本初記録となる「イブリカマス」、「カイユウセンニンフグ」の2種を含む136科567種を収録。「イブリカマス」は、平成17年5月発行の日本魚類学会の英文学会誌（Ichthyological Research）において、新種に認められた。

平成21年12月には、「第二水槽」（約19m×約31m×水深約5m + 約8m×約8m×水深約5m 水量3,300t）を開設。ジンベエザメなどの大型魚類の飼育を行い、健康管理のためのトレーニングや回遊経路調査などに取り組み、謎の多い海洋生物の生態調査や繁殖研究を行っている。



以布利センター（右：第一水槽、左：第二水槽）



世界で初めて長期飼育に成功したイトマキエイ



平成17年に新種として確認された「イブリカマス」